

3 年生世界史 A プリント 1 3 回目

3 年 ____ 番氏名 _____

(5) 中世の西欧

教科書 P 29 ～

- ・ () は、ヨーロッパの中央で狩猟・牧畜・農業を営んでいたが、遊牧民 () に押されて、部族ごとに西南方向に移動した ()。その結果、5 世紀以後、西欧や南欧に多くの部族国家ができた。その一つ () は、ローマのキリスト教会との結びつきを強め、その王 () は 800 年に教皇から皇帝の冠を受けた。カール大帝は政治・教会・軍をととのえ、ラテン語の学芸を奨励したので、ここに西欧の () で独自の文化が始まった。
- ・ ゲルマン人のうち北欧のノルマン人は () と呼ばれ、9～11 世紀にかけて、たくみに船を操り、北欧ばかりでなくイギリス・フランス、そして北大西洋へ、またシチリア・ロシア・黒海方面へも進出した (第 2 次民族大移動ともいう)。
- ・ 中世の西欧は、都市国家ローマとちがって、まず () として発達した。中世における人と人の関係を成り立たせていたのは、() である。封建制とは第 1 に、大小領主のあいだの () で、主君は臣下に () を与え、臣下は主君に () を誓った。もし主君が契約をもらなければ、臣下は従わなくてよかった。
- ・ 封建制は第 2 に、領主と農民のあいだの支配・従属の関係である。貴族や教会が土地の領主となり、その () で、農民は収穫の一部を領主におさめ、一定の日に領主のために働いた。耕地を三分して、放牧地を含む () という輪作がおこなわれた。農民は奴隷ではないから家族や農具・家畜をもっていたが、土地を処分したり () したりする自由はなく、もし紛争があれば領主が農民を裁いた。不自由な彼らを () ともいう。

～ ノ ー ト ～